

北部18 御経塚遺跡

おきょうづか
御経塚1・2・4・5丁目



史跡御経塚遺跡全景（2005年撮影）

その後の大規模な調査によって、集落は中心部に共同の祭祀・集会の広場をもち、その周りを住居が環状に囲み外縁部は墓域となる構造が判明した。住まいについても後期は竪穴住居であったものが、晚期からは掘立柱建物に変化することが確認された。一時期の集落は2～3棟の住まいが一群となり全体で5～6群ほどが展開し、人口は60～100人ほどと推定されている。

出土した土器、石器はおびただしい数にのぼる。食物を煮炊きした土器や、木の実を磨りつぶした磨石と石皿、狩猟に用いた石鏃、祭祀・儀礼・呪祝に用いた道具の土偶や不思議な石製品の石棒、石冠、御物石器などは当時の生活をしのばせる貴重なもので、東北地方と同じ文様が描かれた土器や新潟県糸魚川産のヒスイの玉類からは、人々の移動や交易を知ることができる。

縄文時代後期 中葉～弥生時代初頭（3,700～2,500年前頃）にかけて長期間存続した径約200mの環状集落である。

1956年（昭和31）の発掘調査では御物石器の埋納構造の発見や、出土した土器の研究から、北陸地方で晚期前半（3,300年前頃）の指標となる御経塚式土器の設定により注目を集めることとなった。



遺構群図

国指定記念物 史跡

1977年（昭和52）3月8日指定

切で、この規則性を自然に対して願うため祭祀や呪祝行為が晚期には多く行われている。

遺跡中心部の約15,000m²は1977年（昭和52）に国指定史跡となり、竪穴住居やトチ・クリの実る原生林を復元した保存整備が行われた。2010年（平成22）には、出土品4,219点が重



発掘調査風景（1975年）

要文化財に指定され、隣のふるさと歴史館において展示公開されている。（□14・42）

北部19 野々市市ふるさと歴史館

御経塚1丁目182番地

問合せ／野々市市ふるさと歴史館 電話 076-246-0133

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）・国民の祝日の翌日（土・日を除く）・年末年始

開館時間／午前10時～午後4時 入館料／無料

御経塚遺跡から出土した重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」や末松廃寺跡をはじめ、市内の縄文時代～中世の遺跡や遺物の展示を中心とし、加賀守護富樫氏の関係資料や市有形文化財に指定されている文書などを紹介している。また、館内では土器づくりや勾玉づくりなどが体験できる。



ふるさと歴史館



第2展示室